初春を"聖霊天降る―宇治"で迎えよう！

宇治だより
発行所 生長の家宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川32
電話 0774－21－2151
ホームページ http://www.uji-ani.jp/
環境に対する国際規格 ISO 14001 認証取得

宝蔵神社鏡餅奉納

宝蔵神社に鏡餅を奉納してご先祖様に感謝を捧げ、家族の益々の円満調和を祈念致しましょう。

―奉納金―
一口千円以上

宝蔵神社新年祭・初詣練成会・入龍宮幽斎殿について

生長の家宇治別格本山総務・宮司　堀端芳樹

ありがとうございます。

新しい令和の時代に入りまして、初めてになる、新年を寿ぐ第六十回宝蔵神社新年祭が、来る令和二年の元日から三日にかけ執り行われます。宝蔵神社が落慶しましたのが、昭和三十五年の八月でありました。そしてその翌年の昭和三十六年一月一日から三日にかけまして第一回の宝蔵神社新年祭が執り行われまして以来回を重ね、来年の新年祭は六十回目を数えることになります。新しき年を迎え、年の初めに宝蔵神社新年祭に御参列頂き、本尊神霊にましま す生長の家大神様をはじめ、大国主大神様、観世音菩薩様、地蔵大菩薩様、阿弥陀如来様の日頃の御護りに感謝をささげるとともに、宝蔵神社の紫雲殿、光明宮・宝蔵宮及び霊殿に斎きまつるご先祖の御霊様に報恩感謝の真心を捧げ、神・自然・人間の大調和する世界実現の決意を新たにし、顕幽相携えて人類光明化・国際平和信仰運動のますますの発展を祈念して、一年を出発するということは、誠に意義深いことであると存じます。多くの方々が宝蔵神社の新年祭に御参列くださいますようご案内申し上げます。

宝蔵神社では新年祭に向け、毎年恒例の鏡餅奉納申込みをお受けいたしております。この鏡餅の奉納は、新年祭が始まった翌年の昭和三十七年の新年祭から始まりました。

大聖師谷口雅春先生は、「古事記と現代の預言」の中で正月の餅飾りの意義について次のようにお示しいただいております。『鏡餅というものを、お正月に何のために床の間に飾ったりするかというと、あれは"心の鏡"として反省するためで、こういう円満な心まん円い心になって、夫婦一体に、仲良くこう重なっていないといかんぞよ、と示されているのであります。・・・中略・・・お正月即ち年の始めに、新たに生まれるつもりで、今年はこの鏡餅の如く家族がバラバラでなく一体となり、円満完全に夫婦仲良く致しましょうという象徴行事がこの正月の餅飾りであるわけであります。』

このような鏡餅奉納の意義をご理解下さり、多数のお申し込みをお待ち申し上げます。

また、十二月三十一日の午後から新年一月三日にかけまして第三十三回初詣練成会が執り行われます。年の初めに練成会を受講されて、各種の行事を通して皆様方の神性がますます開発され、また本来の仏性がますます開顕されて、新しい年を出発することはまことにすばらしいことでありますので、是非多くの方のご参加をお待ちいたしております。

今年の初詣練成会の参加者の方から、息子さんとの関係に悩み、受講され、心が大変軽くなって救われた方、また、家庭円満を願って参加された方が喜びを見いだして救われた体験等が寄せられました。是非多くの方に初詣練成会をご紹介くださり、さらにご参加くださいますようお願いいたします。

さらに、入龍宮幽斎殿におきましては新年を寿ぎ、各種行事を行っております。特に年頭に当たって"入龍宮幽斎殿にての神想観"を厳修し無の門関を超えて龍宮海に入ることによって身心共に浄められて一年を出発することは大変意義深いことであると存じます。

また"神癒の社"におけます神癒祈願をはじめ、年始めの"書き初め"や報恩供養の写経も行っております。写経のお礼状も多数まいっております。ぜひ入龍宮幽斎殿に御昇殿ください。

最後に食堂におきましては毎年恒例の"宝蔵ぞうに"の無料接待を行っております。

多数の皆様方のお越しをお待ち申し上げます。

聖経読誦の供養について。

生長の家総裁　谷口雅宣

生長の家で「聖経」と呼ぶのは、聖経『甘露の法雨』や『天使の言葉』『続々甘露の法雨』などいくつかありますが、これを読む場合は仏壇の前でもいいし、神棚の前でもよいということになっています。でも、まだ生長の家の教えを十分理解していない人が読む場合は、仏壇の前で聖経を読誦していて「この教えは仏教とは違う……」などという意識をもたれると思います。本当は違わないんですけれども……。そういう場合は、「違わない」ということをハッキリ宣言されてから読むのがいいでしょう。

例えば、"仏様"に対していつも『般若心経』を唱えていらっしゃるのだったら、「この聖経は『般若心経』に説かれているのと同じ教えを、現代語で表した素晴らしいお経ですから、ぜひ聞いて悟りを深めてください」というようなことを事前に申し上げてから、聖経を読誦されるのもいいと思います。ただ、わざわざそんな解説をしなくても、生長の家の聖経は現代語で書いてあることは、読み始めたらすぐ分かります。だから、読む側が心を込めて読めば"仏様"もしっかり聞いてくださると思います。しかし、もし「違う」ということが気になるのなら、今、申し上げたような事前のご挨拶を少しされてから、読まれるのがいいと思います。

そして、聖経を読むときは、"仏様"に語りかける気持ちで、親しみを込めて読むのがいいでしょう。それは結果的には、自分に語りかけることにもなります。まあ、そういう真理を媒介としたご先祖との心の交流の場として、聖経読誦をされるのがいいでしょう。

・・・中略・・・

生長の家の聖経読誦は、大変自由であります。あまり形式にこだわらなくていいのです。もし神棚も仏壇もないが、どこかで読みたいという場合には、どこで読んでもよろしい。部屋の中だったら床の間に向かって読んでもいいし、洋室だったら窓に向かって読んでもいい。通勤途中の電車の中で読んでもいいんですよ。これは、どちらかというと自分の心に語り聞かせるという意味があります。特に読み聞かせる相手がいなくても、自分に語りかけるために読んでもいいでしょう。

『生長の家ってどんな教え？』一七八〜一七九頁より

第60回 宝蔵神社 新年祭 元日〜三日

「新年祭」祭典（宝蔵神社大拝殿）
午前十一時〜十二時三十分

聖経連続読誦（宝蔵神社大拝殿）
午前八時〜午後四時

精霊招魂神社・末一稲荷神社 全国流産児無縁霊供養塔・自然災害物故者慰霊塔での聖経読誦（各社）
午前九時〜午後三時

神想観厳修（神癒の社入龍宮幽斎殿）
午前九時・十時
午後一時・二時・三時

新春開運書初め・新春写経（神癒の社入龍宮幽斎殿）
一月一日〜三日
八時三十分〜十六時三十分
一月四日〜三十一日
九時二十分〜十六時三十分

宝蔵雑煮無料接待（食堂）
午前九時〜午後三時

第三十三回 初詣練成会

令和元年十二月三十一日
午後一時受付開始
令和二年一月三日
午後三時まで

主な行事
元日　浄心行
二日　先祖・流産児供養祭
　　　祈り合いの神想観
三日　宝蔵神社新年祭参列

新春練成会

令和二年一月十日（金）
午後三時三十分受付開始
一月二十日正午まで
※詳細は本山ホームページに

令和二年、初詣練成会に参加しよう

生長の家宇治別格本山　理事・練成部長　長田　忍

合掌ありがとうございます。

今年は元号が"平成"から"令和"と改元され、宇治練成会も新しい練成会を三つ開設し、七月『自己実現のための青年練成会』、八月『子供の笑顔を創る子育て練成会』、九月『働く悦びを生きる練成会』を開催することができました。

Mさんは最近あったショックな出来事がきっかけで、仕事に意欲が湧かなくなり、丁度開催された『神性開発一般練成会』に参加されました。

以下はMさんの手記からの引用です。

『私は中国地方の電力会社に勤務しており、十八歳より三十五年間働いています。現在、主任という役をしており、年齢は五十三歳です。同じ課にはあともう二人主任がいますが、二人とも十歳も若い四十代前半です。

今年十月の昇進で二人は管理職に昇格し、私は昇格できませんでした。理由を聞こうと課長と話をしたのですが、私の納得のいく説明はなく、「来年は管理職にあげる予定である」と、言われました。しかし、本当に来年昇格できる確約もなく、信頼できず、悶々として宇治にやって来ました。講話を聞いても頭に入らず、個人指導をお願いしました。』

Mさんに次のような内容のアドバイスをしました。

『先日、九月七日〜九日にかけて過去最強クラスと言われる台風十五号が、伊豆諸島に上陸し、千葉県・茨城県を通過しました。最大瞬間風速は五十七・五メートルを記録し、電柱や鉄塔がなぎ倒され、千葉県では一時約五十七万戸の大規模な停電が起こり、復旧には二週間以上を要し、多くの人が困難な生活を余儀なくされました。温暖化により台風は今後も益々巨大化し、同様の被害が拡大するでしょう。

あなたの携われている仕事は人が生活し、生存するために不可欠なライフラインを維持し、人々の命に直結する大変重要な仕事です。連日の報道によると、不眠不休で停電の復旧にあたられた作業員の皆さんに、地元住民の人達は大変感謝されていました。

神様から与えられた仕事を通して、地域や社会のお役に立ち、他人に悦びを与えることができるのです。また、仕事は自身の忍耐を養い、困難は自己の魂を鍛え、持続的に神性を開発してくれます。だから、仕事は決して会社の上司から与えられているのではなく、今、その役割が魂の生長になくてはならないからこそ、神様があなたに今、与えられているのです。』

Mさんの手記の続き。

『説明を受けた時、心が軽くなった。課長が信用できない人間だと心でつかんでいたものが消えた。年下の主任と肩を並べ仕事をするのに、何故かプライドが先に立ち、しんどかったが"神様だったらどう判断されるか"という想いで仕事を取り組もうと思ったら、気が楽になった。』

『あと七年、六十歳が定年です。同僚は同年代で、同じ肩書で、同じ給料で、責任だけはない「あいつらはええなぁ」と、心で想い、裁いており、しんどかったです。講師より「同じ仕事をこなしていて、給料が少ないと云うことは、その差の分は目に見えない陰徳として宇宙銀行に蓄えられ、良き運命を招き、必要な時には必要なものや助け手が現れてくるものです。物ではない場合や色んな形で必ず返ってきます。自分に戻ってこない時は子や孫に与えられます」と、言われた。必ず与えたものは与えられるとも教えて頂き、目の前が明るくなるのを感じた。

大拝殿での感謝行の時、涙が出て止まらなかった。自分が投げたものが返ってくる世界だということが分かったので、今日からは神様と共に生きる生活をしたいと思います。三正行を行います。宇治に来て本当に良かったです。また練成会に繰り返し参加します。』

吾々は時とすると目に見える世界だけがすべてであると思い、現象の姿に報いを求めがちです。本当は目に見えない神様の世界にこそ目を向けることが最も大切であるのです。そのため、真理研鑽を怠らず続けることが重要です。

来る『令和二年神性開発　初詣練成会』は改元後、初めて開かれる初詣練成会です。ぜひ、ご一家で参加され、希望実現へと新年のスタートを祈りお迎えください。

新しい年を迎える宇治初詣練成会

ありがとうございます　一億回へのオデッセイ

相愛会大阪教区連合会副会長　花光義正

平成二十八年四月、父の脳梗塞を機に『生命の実相』を読み進めるうちに宇治別格本山練成会を知り、九月短期練成会でありがとうございますを三時間で一万回唱える感謝誦行に参加しました。私は一万八千回唱えれたのでその翌日から神の子カウンターで一日二万回を唱えて、一千万回の誦行を発願しました。

当初は父の神癒を願い、誦行し続けました。百万回を超える頃、脳梗塞の後遺症で完治不能の左肩脱臼が癒え、父の左肩と左腕が繋がり、不随の左手が動き始めたのです。

その年の十一月に急に父が危篤状態に陥り、父の耳元でありがとうございますと数時間、唱えていると父の意識が奇跡的に回復したのです。その後、左半身麻痺も少しずつ癒えて、快方に向かうと思いきや、平成二十九年一月四日に父は突然、霊界へ旅立ちました。父は私を生長の家の御教えと感謝誦行に導いて、私に真理に生きる道を開いてくれたのです。

通勤途中や昼休み時間等に感謝誦行を続け、平成二十九年十二月二日、父の一周忌の日に宇治大拝殿で一千万回満願達成しました。長田講師に満願達成報告をした際に次は一億回の発願ですと表明すると、一週間後、長田講師から一億回感謝誦行成就祈願の般若心経の長田講師自筆の写経を頂きました。感謝合掌。

その後、感謝誦行により生活の円滑化現象が続出して、家庭や職場が大調和となり、環境が大きく整いました。平成二十八年十一月に入信以来、大阪教区では昨年の講習会で体験発表を行い、初めての講習会に四十二名を推進し、その後、組織拡大対策部長として、三十名近い会員を拡大。本年九月、相愛会副会長を拝命するなどこの三年間、感謝誦行により真理を生きる悦びを開眼して、私の人生は陽転して、光輝いて新生したのです。

現在、三千万回を目前にして、三千万回の感謝誦行が私に教えてくれたことは肉体の自分がありがとうございますと唱えるのではなく、感謝という理念が私の口を通してありがとうございますと発していると。理念そのものは神の想念ですので、現象時間の流れに淘汰されることはなく、不死不滅。久遠ですから現象を超越し、霊的実在となり、霊の法則に生かされた救われ済みの神の子が現成すると。「ありがとうございます」と唱えることは実相直視して、実相に超入することから、いわば真理のスイッチをオンすることになる。真理スイッチオンして、現象の不具合が生じていようとも、唱えることで霊的実在の救われ済みの大安心の自覚が現成する。現象は流動化して、ただ消えるのみ。感謝誦行は神の子の自分に感謝して、ただただありがとうございますと御礼を述べる瞬間的神想観となるのです。朝晩の神想観以外でも神と直結して、神を行じる常住坐臥の祈りに生きるのです。「ありがとうございます」と唱えることで肉体から霊的実在へ、現象時間から久遠の今へ、現象から実相へ三百六十度回転するのです。

神の愛が地上にあって、言語と化するとありがとうございますという聖なるコトバになり、光そのものになるのです。ですからありがとうございますによって、影なる現象は消えるのです。まさに現象ナシ！神のみ独在！

神の愛と光である「ありがとうございます」にありがとうございます。

感謝誦行に心身脱落して、久修の菩薩となり、一億回へのオデッセイの旅路は続きます。

合掌ありがとうございます。

研修生募集中!!

宇治別格本山では、常時研修生を募集しております。

元研修生の悦びの言葉

仕事に於いて頑張れば頑張るほど空回りしてしまう状態に陥ってしまい練成会を受講し研修生となりましたが、「人間神の子！」の真理を自覚していく中で全てが良き方向へ進んでいきました。全力で励んだ研修期間は、私の人生においてかけがえのない宝物です。

練成員の皆さんと共に茶摘みの献労

詳しい内容をお知りになりたい方はご連絡下さい。
℡：0774-21-2153

元旦午前0時の神想観

午前0時からは、宝蔵神社大拝殿にて、新年初の神想観を厳修し、その後、精霊招魂神社、全国流産児無縁霊供養塔、自然災害物故者慰霊塔、末一稲荷神社の各社に参拝し、最後に末一稲荷神社で、天地に轟く初笑いをします。（参加自由）

大募集！

新年祭準備献労

無我献身の新年祭準備献労をして下さる方を募集しております。

12月27日　夕刻開始〜
12月30日　午後3時まで

●13歳以上で、献労の出来る方
●28日金曜日には今年最後の浄心行がございます。

全期参加者のみ
参籠費・奉納金無料

新年祭奉仕員

新年祭準備献労終了後、そのまま新年祭奉仕員をして頂けます。

12月31日午後3時集合
1月3日午後5時解散

●全期参加出来る方
●献労の出来る服装が必要です
●情報誌『宝蔵』年間購読の方
令和2年版『ひかりの言葉』（日訓）贈呈

参籠費・奉納金
三日間　一、五〇〇円以上

お問合せは練成部まで　℡0774－21－2153（練成部直通）

宇治別格本山行事案内

令和元年　12月
- 大浄心のための短期練成会　11月29日（金）〜12月2日（月）
- 楽しく行ずる練成会　12月6日（金）〜8日（日）
- 大浄心のための一般練成会　12月10日（火）〜20日（金）
- 自然災害物故者慰霊塔月次祭　12月11日（水）午前10時〜
- 宝蔵神社月次祭・全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭　12月13日（金）午前10時〜正午
- 末一稲荷神社月次祭
- 精霊招魂神社月次祭　12月19日（木）午前10時〜正午
- 新年祭準備献労　12月27日（金）〜30日（月）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和2年　1月
- 第60回宝蔵神社新年祭　1月1日（祝）〜3日（金）
- 初詣練成会　12月31日（火）〜1月3日（金）
- 新春練成会　1月10日（金）〜20日（月）
- 自然災害物故者慰霊塔月次祭　1月11日（土）午前10時〜
- 宝蔵神社月次祭・全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭　1月13日（月）午前10時〜正午
- 末一稲荷神社月次祭
- 精霊招魂神社月次祭　1月19日（日）午前10時〜正午
- 長寿練成会　1月24日（金）〜27日（月）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和2年　2月
- 短期練成会　1月31日（金）〜2月3日（月）
- 第46回末一稲荷神社初午祭　2月9日（日）午前11時〜正午
- 一般練成会　2月10日（月）〜20日（木）
- 建国記念の日祝賀式　2月11日（祝）午前11時〜
- 自然災害物故者慰霊塔月次祭　2月11日（祝）午前10時〜
- 宝蔵神社月次祭・全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭　2月13日（木）午前10時〜正午
- 末一稲荷神社月次祭
- 精霊招魂神社月次祭　2月19日（水）午前10時〜正午
- 幸福な結婚をするための練成会　2月22日（土）〜25日（火）

宇治を愛する人 ⑩⑤

幸せを感じる生長の家宇治別格本山

京都第二教区教化部長　伊藤夏樹

世の中には、訪れるだけでも幸せな気持ちにしてくれる場所が確かにあります。青々広々とした空と海のある浜辺、または懐かしく優しい人々の住むふるさとの実家などあげる人もいるでしょう。私にとって、その最高の場所のひとつは生長の家宇治別格本山です。

私は宇治別格本山の境内に入ると、いつも心が安らぎます。来るまで抱えていたいろいろな不安や過度の緊張感が和らぐのを感じます。そしてありがたい気持ちが沸々とわいてくるのです。多くの方が同じことを経験しているのではないでしょうか。

それはまず、豊かな自然の緑に囲まれた宝蔵神社、ここに霊牌供養等を通してご先祖様や家族がお祀りされていることが関係していると思っています。私の父や姉は既に亡くなりましたが、なぜかここでは「いつもありがとう」と話す幸せそうな姿を容易に思い浮かべることができ、身近に感じることができるからです。

それから、ここで出会う方々の幸せな雰囲気。講師・職員の方々、研修生、練成参加者はもちろん、訪れる方々も互いに合掌して拝み合いながら「ありがとうございます」と挨拶をする。私もまた合掌して挨拶をさせていただく。この幸福なやりとりも、心を優しくしてくれます。ここは本当に人を幸せにするところだなといつも感激します。

こんなことがありました。今から二十五年程前、参加した一般練成会で、運営委員会に特別に同席させていただいたときのことです。練成会まだ中日の朝、各係からそれぞれ昨日の様子や課題などが発表されましたが、一人の運営委員がある男性参加者のことをとても残念そうに次のように報告しました。「昨日〇〇さんが、生長の家でも私の病気を治せないじゃないかと文句を言って帰ってしまいました…」

聞きながら私は「なんて人だ、練成会はまだ終わっていないのに、生長の家を見限って帰ってしまうなんて」と憤りを感じました。「素直に最後まで受けたらどうなんだ」「感謝を知らない、そんな程度だから病気が治らないんだ」と心の中で問題点をあげながら少し得意にもなっていました。そして運営委員会では彼の間違いがどのように指摘されるかと待っていたのです。

ところが次の瞬間、私はそれまでで一番自分を恥かしく思うことになりました。

「それでは、その人のために皆で祈りましょう―」

運営委員会参加者全員による祈りがはじまったのです。

「帰った〇〇さんも神の子です。今回の練成会では救うことが出来なかったけれど、どこかでまた、神様とのご縁を得て、神の子の実相を顕現されますように…」（たしかこのような祈りだったと思います）生長の家の練成会に途中で帰ったその人に対して、愛をもって実相顕現が祈られたのです。

その人の幸せのために、全員が時間をかけて祈ったのです。

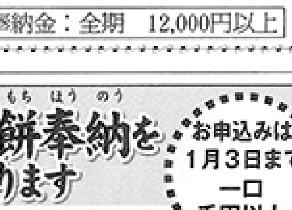
思わぬ展開にびっくりしましたが、あのときほど教えで人を裁いて得意になっている自分を恥ずかしく思ったことはありませんでした。そして、あらためて宇治別格本山は人を幸せにしないではおかない意志と祈りに満ちたところであって、それが実際ここを訪れる人々を幸せに導くのだなと気づかされました。

幸せを感じる理由を考えながら、新しい年は、さらに多くの人が宇治別格本山を訪れて幸せになってもらえるように、"神・自然・人間は本来一体"を伝える練成会などへ案内する決意でいます。

令和二年新春の各種練成会は 長寿練成会

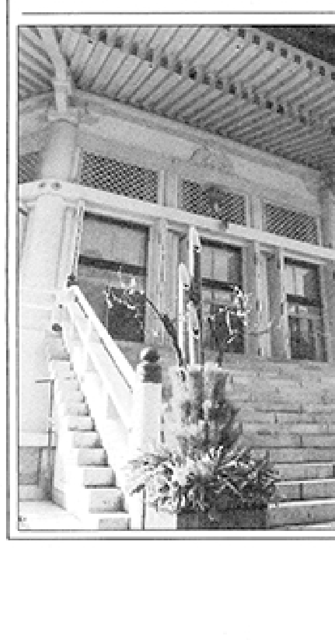
期日　令和2年1月24日〜27日

大講堂でのお茶会・絵手紙　野外研修
（京都の歴史的建造物の拝観など）
講話「死を超えて人間は生きる」
講話「よろこびの先祖・流産児供養について」
講話「私の生涯を決定したもの」等
浄心行、先祖・流産児供養祭、祈り合いの神想観等々



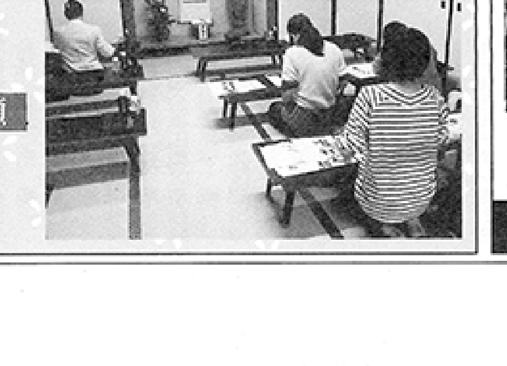
奉納金：全期　12,000円以上

神癒の社 入龍宮幽斎殿で 神想観厳修・新春書初め・新春写経を!!



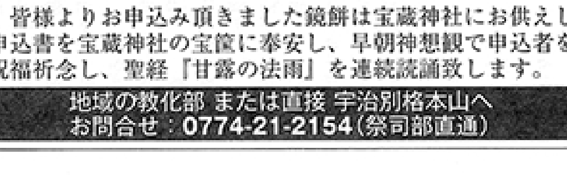
神想観厳修
1月1日〜3日
午前9時・10時
午後1時・2時・3時
1月4日〜通常
午前10時・午後1時

書初め・写経・神癒祈願
1月1日〜3日
8時30分〜16時30分
1月4日〜31日
9時20分〜16時30分



新年祝福祈念の鏡餅奉納を受け付けております

お申込みは1月3日まで
一口千円以上



皆様よりお申込み頂きました鏡餅は宝蔵神社にお供えし、申込書を宝蔵神社の宝匱に奉安し、早朝神想観で申込者を祝福祈念し、聖経『甘露の法雨』を連続読誦致します。

地域の教化部 または直接 宇治別格本山へ
お問合せ：0774-21-2154（祭司部直通）

第四十六回 末一稲荷神社初午祭

令和2年2月9日（日）午前11時〜
於：末一稲荷神社

教勢発展・繁栄祈願のお申込みをお待ちしております。

護法の神である末一稲荷大神の御神徳を仰ぎ、神・自然・人間の大調和する世界実現のため、皆様方には真心からの「教勢発展・繁栄祈願」をお申し込み頂きますようご案内申し上げます。

お申し込みは、地元の教化部または直接宇治別格本山祭司部窓口へ　℡0774-21-2154（祭司部直通）　※奉納金額は随意

第四十六回 末一稲荷神社初午祭によせて

生長の家宇治別格本山総務・宮司・祭司部長　堀端芳樹

来る、令和二年（二〇二〇年）二月九日（日）、午前十一時より末一稲荷神社におきまして、第四十六回末一稲荷神社初午祭が厳かに執り行われます。

初午祭のいわれは、和銅四年（西暦七百十一年）の最初の「午の日」に稲荷大神が天界より天下り、京都の伏見の地に鎮座ましました地上における誕生の日とされ、現在の暦に換算しますと、二月の最初の午の日を「初午祭」として伏見稲荷大社をはじめ全国的に御祭が執り行われております。

当宇治別格本山にお祀りされております「末一稲荷神社」は、昭和五年の三月に谷口雅春先生が「生長の家」を創刊された折り、谷口輝子先生が近所の婦人にすすめられ、神誌拡大を祈願して京都の伏見稲荷大社より神霊を受けられて以来、四十五年間先生のご私邸にお祀りされ、神誌普及を祈願された霊験あらたかな神社であります。

そして、昭和四十九年十月十九日の立教四十五年を機に「末一稲荷神社遷宮祭」がとりおこなわれまして、宇治別格本山の境内地に末一稲荷の神霊を遷座申し上げ、その御神徳を広く一般に公開されるようになったのであります。

この御神徳につきましては、末一稲荷神社神殿地鎮祭祝詞の中で「稲荷大神は宇宙の生成化育の霊気の顕現にましまし、五穀豊穣、招福の神と称え奉らる、能く天魔鬼神をも、その実相を観じて正道に導き給う神にましませば、この聖地に鎮まりませば、生長の家大神を扶け奉りて能く諸人を教化し諸々の功徳を授け給うこと必定なり」と詠われていますように繁栄の神様として、また真理普及の護法の神様としてお働きくださっておられます。宇治別格本山では、この霊験あらたかな、末一稲荷神社にて、教勢のますますの発展と、繁栄を願って、『教勢発展・繁栄祈願』の申込みを年間を通して受け付けております。

令和二年二月九日（日）の初午祭当日には、全国からお申し込みいただいた申込書が、神前にてまごころの祈念がなされ、祭典中に宮司の祝福祈念を受けたあと同神社内に奉安され、翌年の初午祭まで、毎日聖経『甘露の法雨』を読誦して祝福祈念を続けております。

申し込まれた全国の信徒の方から、教勢の発展、入学成就、商売の繁盛あるいは結婚の成就等のすばらしい体験が多く寄せられております。多くの方々に『教勢発展・繁栄祈願』のお申し込みをしていただきますようおすすめ致しますとともに、初午祭当日には多数の皆様の御参拝をお待ちいたしております。

祥月命日供養祭《繰上日》のお知らせ

＊新年祭及び新年祭準備・後片付けのため、年末年始の祥月命日供養祭を左記の日程で繰上げて執り行います。

12月24日〜27日分→《12月1日（日）》
12月28日〜31日分→《12月8日（日）》
1月1日〜5日分→《12月15日（日）》

※繰り上げ日以外の日でも唱名致します。案内ハガキをお受所にお持ち下さい。

人事異動

【推進員】
○前相愛会札幌教区連合会 会長 畑中 正 殿
○前相愛会宮城教区連合会 会長 佐藤佳樹 殿
○前相愛会栃木教区連合会 会長 小林嘉一 殿
○前相愛会千葉教区連合会 会長 本島 彰 殿
○前相愛会東京第一教区連合会会長 茜 正仁 殿
○前相愛会富山教区連合会 会長 吉原和生 殿
○前相愛会京都第一教区連合会会長 小野博央 殿
○前相愛会大阪教区連合会 会長 草野省三 殿
○前相愛会広島教区連合会 会長 吉川三郎 殿
○前相愛会島根教区連合会 会長 高橋安夫 殿
○前相愛会愛媛教区連合会 会長 佐々木正悟 殿
○前相愛会大分教区連合会 会長 藤野 浩 殿
○前相愛会佐賀教区連合会 会長 山本英夫 殿
○前白鳩会札幌教区連合会 会長 野田頌暁子 殿
○前白鳩会釧路教区連合会 会長 高橋三枝 殿
○前白鳩会北見教区連合会 会長 若原静枝 殿
○前白鳩会秋田教区連合会 会長 梅田昌子 殿
○前白鳩会宮城教区連合会 会長 高木みち子 殿
○前白鳩会福島教区連合会 会長 長嶺りき子 殿
○前白鳩会茨城教区連合会 会長 稲葉文子 殿
○前白鳩会東京第一教区連合会会長 朝比奈愛子 殿
○前白鳩会東京第二教区連合会会長 澤登仁恵 殿
○前白鳩会富山教区連合会 会長 江尻まつ子 殿
○前白鳩会愛知教区連合会 会長 加藤さちゑ 殿
○前白鳩会岐阜教区連合会 会長 棚橋岸子 殿
○前白鳩会京都第二教区連合会会長 渡部悦子 殿
○前白鳩会大阪教区連合会 会長 樋上和子 殿
○前白鳩会鳥取教区連合会 会長 田中和子 殿
○前白鳩会山口教区連合会 会長 畑島美千代 殿
○前白鳩会福岡教区連合会 会長 江藤孝子 殿
○前白鳩会大分教区連合会 会長 長松素子 殿
○前白鳩会長崎南部教区連合会会長 松尾愛子 殿
○前白鳩会長崎北部教区連合会会長 金崎安代 殿
○前大阪教区地方講師会副会長 湯川和江 殿
○元相愛会大阪教区連合会 会長 中井恒夫 殿

令和元年9月30日付、宇治別格本山推進員の委嘱を解く。

○相愛会札幌教区連合会 会長 田村 修 殿
○相愛会小樽教区連合会 会長 熊澤龍一郎 殿
○相愛会釧路教区連合会 会長 鈴木忠良 殿
○相愛会北見教区連合会 会長 岡田 哲 殿
○相愛会山形教区連合会 会長 後藤省明 殿
○相愛会宮城教区連合会 会長 千葉 満 殿
○相愛会福島教区連合会 会長 小林教八 殿
○相愛会茨城教区連合会 会長 浦井甲司 殿
○相愛会栃木教区連合会 会長 吉村聖彦 殿
○相愛会埼玉教区連合会 会長 冨田敏夫 殿
○相愛会千葉教区連合会 会長 安達敏広 殿
○相愛会東京第一教区連合会会長 鈴木康正 殿
○相愛会東京第二教区連合会会長 山口賢次郎 殿
○相愛会新潟北越教区連合会会長 渡部政幸 殿
○相愛会富山教区連合会 会長 中土政英 殿
○相愛会愛知教区連合会 会長 伊藤良一 殿
○相愛会岐阜教区連合会 会長 日比野佐久夫 殿
○相愛会京都第一教区連合会会長 中林秀世 殿
○相愛会京都第二教区連合会会長 近藤保男 殿
○相愛会大阪教区連合会 会長 長部彰弘 殿
○相愛会広島教区連合会 会長 近藤静夫 殿
○相愛会島根教区連合会 会長 長野隆治 殿
○相愛会山口教区連合会 会長 森川 章 殿
○相愛会愛媛教区連合会 会長 村上 賢 殿
○相愛会高知教区連合会 会長 岩原秀実 殿
○相愛会福岡教区連合会 会長 於保光彦 殿
○相愛会大分教区連合会 会長 芦刈修司 殿
○相愛会佐賀教区連合会 会長 田中慎一郎 殿
○相愛会長崎南部教区連合会会長 松尾義勝 殿
○相愛会長崎北部教区連合会会長 内林陽二郎 殿
○相愛会鹿児島教区連合会 会長 福重新一 殿
○相愛会沖縄教区連合会 会長 山城 剛 殿
○白鳩会札幌教区連合会 会長 藤井恵子 殿
○白鳩会小樽教区連合会 会長 長縄恵美子 殿
○白鳩会釧路教区連合会 会長 田中敏恵 殿
○白鳩会北見教区連合会 会長 菅原悦子 殿
○白鳩会秋田教区連合会 会長 岩崎しのぶ 殿
○白鳩会山形教区連合会 会長 庄司百合子 殿
○白鳩会宮城教区連合会 会長 佐々木トクエ 殿
○白鳩会福島教区連合会 会長 長谷山美智子 殿
○白鳩会茨城教区連合会 会長 兵頭光子 殿
○白鳩会栃木教区連合会 会長 須鎌頼子 殿
○白鳩会埼玉教区連合会 会長 原田冨湖 殿
○白鳩会千葉教区連合会 会長 尾関澄子 殿
○白鳩会東京第一教区連合会 会長 田中加代子 殿
○白鳩会東京第二教区連合会会長 峯岸順子 殿
○白鳩会新潟越南教区連合会会長 吉岡佳子 殿
○白鳩会新潟北越教区連合会会長 柴田近子 殿
○白鳩会富山教区連合会 会長 竹内加代子 殿
○白鳩会福井教区連合会 会長 田谷英子 殿
○白鳩会愛知教区連合会 会長 竹内和子 殿
○白鳩会岐阜教区連合会 会長 三浦乃扶江 殿
○白鳩会京都第一教区連合会会長 八木広子 殿
○白鳩会京都第二教区連合会会長 塩見富子 殿
○白鳩会大阪教区連合会 会長 房本喜久美 殿
○白鳩会広島教区連合会 会長 山本利恵 殿
○白鳩会鳥取教区連合会 会長 松田恒子 殿
○白鳩会島根教区連合会 会長 西村世紀子 殿
○白鳩会山口教区連合会 会長 津森鈴子 殿
○白鳩会愛媛教区連合会 会長 伊藤啓子 殿
○白鳩会高知教区連合会 会長 野村順子 殿
○白鳩会福岡教区連合会 会長 田上めぐみ 殿
○白鳩会大分教区連合会 会長 川野けい子 殿
○白鳩会佐賀教区連合会 会長 大井手ゆかり 殿
○白鳩会長崎南部教区連合会会長 川原厚子 殿
○白鳩会長崎北部教区連合会会長 立石クミ子 殿
○白鳩会鹿児島教区連合会 会長 新名和恵 殿
○白鳩会沖縄教区連合会 会長 大城ミシントウ 殿
○京都第一教区地方講師会会長 小野香代子 殿
○大阪教区地方講師会 会長 生井伸和 殿
○元相愛会京都第一教区連合会副会長 楠井治 殿
○元白鳩会京都第一教区連合会会長 金子雅子 殿
○前京都第一教区地方講師会会長 辻 和子 殿
○青年会京都第一教区光明実践委員 刈屋勇輝 殿
○相愛会大阪教区連合会副会長 増井光明 殿
○白鳩会大阪教区連合会副会長 瀧谷優子 殿
○大阪教区地方講師会副会長 井形京子 殿
○青年会大阪教区青年会委員長 横田朋哉 殿

令和元年10月1日付、宇治別格本山推進員を委嘱する。

○前生長の家徳島教区教化部長 岡本光生 殿
○前相愛会札幌教区連合会 会長 畑中 正 殿
○前相愛会宮城教区連合会 会長 佐藤佳樹 殿
○前相愛会千葉教区連合会 会長 本島 彰 殿
○前相愛会東京第一教区連合会会長 茜 正仁 殿
○前相愛会富山教区連合会 会長 吉原和生 殿
○前相愛会京都第一教区連合会会長 小野博央 殿
○前相愛会大分教区連合会 会長 藤野 浩 殿
○前相愛会佐賀教区連合会 会長 山本英夫 殿
○前白鳩会釧路教区連合会 会長 高橋三枝 殿
○前白鳩会秋田教区連合会 会長 梅田昌子 殿
○前白鳩会宮城教区連合会 会長 高木みち子 殿
○前白鳩会福島教区連合会 会長 長嶺りき子 殿
○前白鳩会東京第一教区連合会会長 朝比奈愛子 殿
○前白鳩会東京第二教区連合会会長 澤登仁恵 殿
○前白鳩会愛知教区連合会 会長 加藤さちゑ 殿
○前白鳩会岐阜教区連合会 会長 棚橋岸子 殿
○前白鳩会京都第二教区連合会会長 渡部悦子 殿
○前白鳩会鳥取教区連合会 会長 田中和子 殿
○前白鳩会山口教区連合会 会長 畑島美千代 殿
○前白鳩会福岡教区連合会 会長 江藤孝子 殿
○前白鳩会大分教区連合会 会長 長松素子 殿
○前白鳩会長崎南部教区連合会会長 松尾愛子 殿
○前京都第一教区地方講師会会長 辻 和子 殿

令和元年10月29日付、宇治別格本山参与を委嘱する。